

令和2年度 尾道市立栗原北小学校 学校経営構想

尾道教育みらいプラン2：夢と志を抱き、グローバル社会を生き抜く子供の育成

学校教育目標 自分のよさを伸ばし、心豊かに輝く子供の育成

めざす子ども像

- ◆目的意識をもって課題解決を図る。
- ◆人と協同的に問題を解決する。
- ◆失敗や困難を乗り越えて挑戦する。
- ◆自己肯定感をもって生活する。

育てたい資質・能力

- ◆情報活用能力 ◆多様性適応力
- ◆コミュニケーション能力
- ◆レジリエンス能力 ◆自らへの自信

めざす学校像

- ◆不易を徹底し、先進的な取組を意欲的に導入している。
- ◆児童の学びの過程に着目し、学びの結果から改善を導いている。
- ◆危機管理の視点から物事を捉え、組織的に対応している。
- ◆児童、保護者、地域の願いを実現しようとしている。

めざす教職員像

- ◆組織で動くことを徹底し、学年、分掌業務を協同的に推進している。
- ◆見通しをもって職務を推進し、合理的な視点で校務を整理し、ワークライフバランスを考えた生活を送っている。
- ◆教育公務員として服務規律を厳守している。

知・徳・体 の調和のとれた児童の育成

知

- ◆国語科の授業改善
(読む、書く力、ことばの力を高める)
- ◆課題発見解決学習の推進
(失敗、困難を乗り越える)
- ◆思考力を培うプログラミング教育の推進
- ◆個の学びの状況に応じた習熟、発展、補充学習の推進

徳

- ◆全校統一した学習規律
- ◆異学年交流(ファミリー活動)による自尊心、役立ち感、リーダーシップの醸成。
- ◆コミュニケーション能力の育成
(ソーシャルスキルの向上)
- ◆挨拶、「ありがとう貯金」の実践
- ◆読書活動の推進

体

- ◆基本的生活習慣の確立
- ◆体力づくりの推進
外遊びの励行
- ◆食育の推進
栄養教諭による食育指導の推進
残菜ゼロの実現
- ◆保健・安全教育の充実
- ◆カウンセラーによる個別相談

開かれた学校づくり

- ◆地域・家庭と連携した教育活動の展開
- ◆学校情報の積極的な発信(学校・学級便り HP)
- ◆地域人材・地域資源を活用した教育活動の推進

組織的・創造的な教育活動の推進

- ◆報告・連絡・相談の徹底 ◆学校評価システムの推進
- ◆カリキュラムマネジメントによる不断の見直し
(PDCAサイクルの積極的な導入)
- ◆幼保小中連携・小小連携の充実

教育研究

研究主題

一人一人が自分の考えをもち、お互いに高め合う子供の育成
～「読む・書く力」の向上を通して～

めざす授業像

- ◆主体的・対話的で深い学びを実現する全員参加の授業
- ・「教えること」を徹底し、「考える」時間を確保する。
- ・課題発見解決学習、問題解決的な学習を導入する。
- ・教材、友達、自分との「対話」を設定する。
- ・繰り返し発問による深い学びを実現する。